

小学六年

適性検査 D

解答と解説

1

問題1	A
	ア
	B
	ウ
	C
	イ
	I
	ク
	II
	キ
	III
	カ

問題2	1
問題3	4

問題4【例】
 地表面温度が下がり、停留場で電車を待つ人がすずしく感じられる。

問題5【例】
 琵琶湖の水は京都府民だけでなく、より下流に位置している大阪府の人々も使用するため、琵琶湖の環境を守ることで、京都府民や大阪府民の水を守ることにつながるから。

問題6
 2

問題7【例】							
た	さ	で	で	深	じ	減	
い	ま	い	も	が	る	少	海
。	ぎ	る	平	浅	子	し	や
	ま	魚	気	く	ど	て	川
	な	の	な	、	も	い	で
	魚	種	場	水	が	る	泳
	が	類	所	の	多	こ	い
	い	を	、	流	い	と	だ
	る	調	子	れ	と	か	こ
	場	べ	ど	が	考	ら	と
	所	る	も	ゆ	え	、	が
	を	体	た	る	ら	海	あ
	登	験	ち	や	れ	や	る
	録	が	が	か	る	川	子
	地	で	海	な	。	を	ど
	と	き	や	場	そ	こ	も
	し	る	川	所	こ	わ	の
	て	よ	に	や	で	い	割
	選	う	住	転	、	と	合
	び	に	ん	ん	水	感	が

問題2【例】		
よ	味	友
い	や	達
と	好	関
い	き	係
う	な	で
こ	も	し
と	の	ん
。	を	ど
	極	く
	め	な
	る	つ
	こ	た
	と	と
	に	き
	時	は
	間	、
	を	自
	使	分
	う	の
	と	趣

2
 問題1
 エ、オ

50

150

40 20

140 100 60 20

問題 3																【例】	
い	身	が	ら		良	悪	で	し	か	い		る	決	心	こ	不	
と	が	で	っ	だ	く	い	、	て	し	場	わ	こ	め	意	と	安	筆
思	毎	き	た	か	な	こ	筆	も	、	合	た	と	る	気	自	者	
い	日	る	り	ら	っ	と	者	お	気	、	し	は	わ	の	体	は	
ま	を	よ	、	、	た	だ	の	た	の	さ	は	な	け	表	が	持	
す	楽	う	自	相	人	と	い	が	合	み	、	い	で	れ	友	ち	
。	し	に	分	手	と	思	う	い	わ	し	ク	と	は	で	達	に	
	ん	な	が	か	の	わ	よ	に	な	く	ラ	説	な	あ	を	な	
	で	っ	相	ら	友	な	う	大	い	感	ス	明	い	り	作	る	
350	過	た	手	自	情	い	に	変	人	じ	で	し	の	、	ろ	も	
	ご	り	の	分	を	よ	友	な	と	る	だ	て	で	友	う	の	
	せ	す	よ	の	大	う	達	思	無	こ	れ	い	、	達	と	で	
	る	る	さ	よ	切	に	が	い	理	と	と	ま	必	の	し	あ	
	よ	た	を	さ	に	し	で	を	に	も	も	す	要	数	て	り	
	う	め	見	を	し	て	き	す	付	あ	話	。	以	が	い	、	
	に	に	っ	見	た	、	な	る	き	り	す		上	人	る	不	
	心	、	け	っ	い	自	い	だ	あ	ま	こ		に	の	ス	安	
	が	自	る	け	で	然	状	け	お	す	と		気	価	テ	に	
	け	分	こ	て	す	に	態	な	う	。	が		に	値	キ	な	
	た	自	と	も	。	仲	を	の	と	し	な		す	を	な	る	
			300					200					100			20	か

(配点)

① 問題 1 ……各 1 点 問題 2 …… 2 点 問題 3 …… 2 点 問題 4 …… 4 点 問題 5 …… 6 点 問題 6 …… 2 点 問題 7 …… 15 点

② 問題 1 …… 5 点 問題 2 …… 8 点 問題 3 …… 50 点

③ 問題 1 …… (順不同・完全解答)

計 100 点

【解説】

1 「都市と水の関わり」をテーマにした問題

問題 1 A2 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 比較

【資料1】の内容を読み取って、選択肢を分類する問題です。
【資料1】から、香川県では水資源対策として、4つの基本方針をあげていることがわかります。

A および I : 〈方向〉が「水に関する施設の整備」および「安全な水の用意」であることから、水が常に提供できるようなと考えていることがわかります。これに最もあてはまる基本方針はアの「水の安定的な確保と提供」です。また、「水に関する施設」には、浄水場やダムが含まれます。よって、I にあてはまる施策例は「ダムの整備」となります。

B : ……「水質の調査」などが施策例としてあることから、水の安全性や質に関連する取り組みであるとわかります。たぐやさんが「木を植えることはきれいな水が生まれるための環境づくり」と言っていることから、最もあてはまる基本方針はウの「水環境の保全」とわかります。

C および II : 〈方向〉が「水の循環利用の促進」および「節水意識の向上」であることから、多くの県民に水を大切にすることの意識を高めてほしいと考えていることがわかります。これに最もあてはまる基本方針はイの「水を大切にすることへの変化」があてはまります。県民に水を大切にすることを高めてもらうための施策として最もあてはまるのは、「小学生への教材配布」です。実際に香川県では、小学生向けの節水に関する教材を制作し配布しています。

III : ……基本方針が「災害時の水の確保」であることから、緊急事態が発生したときの水をどのように確保するかについて

ての方針であることがわかります。最もあてはまる施策例は「他県との連携の強化」です。香川県は周辺の愛媛県や徳島県と協力し、緊急時には互いに水を供給しあうことを決め、水を供給するためのパイプをつくるなど、連携を強化しています。

問題 2 A2 情報を獲得する 関係づけ 置き換え

水と森林の関係を選ぶ問題です。

1 森林には、水をたくわえるはたらきがあります。多量の雨が降ったとき、森林があると雨水をたくわえておくことができるので、雨水が川に流れることを防ぐことができます。このようなはたらきから、森林は「緑のダム」ともよばれます。よって、正しい内容です。

2 森林は、ダムと同じように水をたくわえるはたらきがありますが、水は地中にためこまれ、少しずつ流れていきます。ダムのように、人間が使いたいときに水を放出することはできません。よって、誤った内容です。

3 森林の木を切る間ばつという作業は、他の木に土からの栄養がいきわたらないことをさけるための作業です。よって、誤った内容です。

4 森林は、海や川からではなく、土から栄養を得て成長します。よって、誤った内容です。

問題 3 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

関係づけ

シラスの特徴について選ぶ問題です。

【グループB】の会話の中で、「シラスは火山灰からできる排

出物」 「稲作に適さない」といった説明があります。稲作は、水を大量に使用する農業です。稲作に適さないということは、水をたくわえにくい性質があると考えることができます。水をたくわえにくいということは、水たまりや冠水（道路や田畑が水につかること）が少なくなるため、路面電車の安全な走行や乗客の快適性につながります。

（参考）

農業とおもな地形のかかわり

・シラス（鹿児島県など）：水をたくわえにくいいため、稲作に適さない。水分を必要としないじゃがいもなどの畑作や、牛や豚を飼育する畜産が多く行われている。
 ・扇状地（山梨県など）：ゆるやかな斜面になっているため、水はけがよい。果樹栽培に適しており、ぶどうやももの栽培がさかんに行われている。

問題 4

B1 理由 具体・抽象 比較

【資料4】から、市電に芝生を導入することによる市民へのメリットについて記述する問題です。

【資料4】から、芝生の導入前と比べて導入後には、大きく地表面温度が下がっていることがわかります。【資料2】を見ると、芝生が導入されているのは「軌道敷内」「中央分離帯」であり、コンクリートの上で舗装されている車道は、市電が芝生を導入しても地表面温度に変化がありません。したがって、芝生には地表面温度を下げる効果があることが考えられます。市電の軌道敷内および中央分離帯の地表面温度が下がるということによる市民への良い影響を考えます。【資料2】から、停留場が軌道敷内にあることを読み取ることができれば、最も表

面温度が低い場所で市電を待つことができるということに気づきます。したがって、表面温度が低いことでずいぶん過ごせて、待ち時間が苦にならないということが考えられます。

（参考）

コンクリートには、熱を保ちやすいという性質があります。コンクリートの建物や道路が多い都心部は、そうでない周辺の地域と比べて表面温度が高くなります。このような現象を、ヒートアイランド現象といいます。問題4の例は、ヒートアイランド現象の対策の例の1つです。

この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（2点）

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。説明が書かれていない場合は0点となります。

- ・芝生を導入したことによる変化と市民のメリットとして考えられることが書かれているか
- ・内容に過不足がないか
- ・文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか
- ・同内容の不必要な反復がないか

形式等について（2点）

内容に関する観点が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか

- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見づらくないか

問題 5

B1 理由 具体・抽象 比較

【資料 8】から、京都府および大阪府と琵琶湖のかかわりについて説明する問題です。

【資料 8】を見ると、滋賀県の人だけではなく、京都府の人でも琵琶湖の水を多く使用していることがわかります。琵琶湖の環境が悪化し、きれいな水ではなくなってしまうと、滋賀県の人々はもちろん、京都府の人々も大きな影響を受けます。したがって、京都府や京都市が琵琶湖の水をよごさないための発信をしたり、琵琶湖疎水の観光を通して水を守る大切さを伝えたりするといった取り組みを行うことは、自分たちが使う水をきれいに保つことにつながっています。加えて、大阪府民は全員が琵琶湖の水を使用しています。琵琶湖の水は、琵琶湖のある滋賀県から、京都府を通じて大阪府に流れていきます。京都府で水がきたなくなると、さらに下流にある大阪府できれいな水を使えなくなってしまう。大阪府の人口は京都府や滋賀県よりも多いため、京都府民の水への意識が、京都府民以上の人口に影響するということを、地図から考える必要があります。この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について (4点)

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。説明が書かれていない場合は0点となります。

・ 【資料 8】をもとに、【資料 5】～【資料 7】のような取り組み

みを京都府が行っている理由として考えられることが、「大阪府」という言葉を用いて書かれているか

- ・ 内容に過不足がないか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか
- ・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について (2点)

内容に関する観点が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 誤字や脱字がないか
- ・ 文法的な誤りがないか
- ・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見づらくないか

問題 6

B1 情報を獲得する 置き換え 関係づけ

【資料 9】に示されたハザードマップを読み取って答える問題です。

1 【資料 9】を見ると、保明、溝口下は、浸水が発生したときの水深が3～5m、5m以上の地域となっています。水深が3m未満ではないため、誤った内容です。

2 岐関大橋は、【資料 9】中の中央やや上部にあります。標高が高い場所は浸水しないため、ハザードマップでも色がつけられていません。よって、正しい内容です。

3 武儀川と今川にはさまれている地域は、【資料 9】を見ると、

浸水の危険きけんがあることがわかります。よって、誤った内容です。

4 【資料9】中にある神社や寺の中には、浸水の想定被害が3～5mのものもあります。よって、誤った内容です。

問題7

C1

理由

具体・抽象

関係づけ

「子どもの水辺」再発見プロジェクトの登録地について【条件】にしたがって考える問題です。

【資料10】から、「子どもの水辺」再発見プロジェクトは、子どもが海や川に親しめるようなさまざまな取り組みを行っているということが読み取れます。また、【資料12】からは、2012年から2021年にかけて、海や川で泳いだことのある子どもの割合わりあひが減少していることが読み取れます。これらの資料から、海や川で泳ぐという経験をさせて川に興味をもってもらうことや、海や川での不測の事故をふせぐことを目的として「子どもの水辺」再発見プロジェクトが推進おしんされていると考えることができます。そのため、登録地に適している場所としては、海や川に親しんでもらいやすい場所であることが最優先です。海や川で泳いだことのない子どもが、どのような水辺であれば楽しんで経験することができるかについて、考えてみるとういでしょう。

*100字未満の場合、採点対象としません。

この問題では、次のポイントを中心にみます。

内容等について(9点)

次のような視点で採点します。誤り1か所につき、3点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。説明が書かれていない場合は0点となります。

・自分が選んだ場所について、具体的な特徴とくちょうにふれて説明が書かれているか

・内容に過不足がないか

・文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか

・同内容の不必要な反復がないか

形式等について(6点)

内容に関する観点が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

・誤字や脱字がないか

・文法的な誤りがないか

・語句や言葉の使い方に誤りがないか

・常体、敬体の混在がないか

・不適切な話し言葉の使用がないか

・消し残りなどで字が見づらくないか

・一行目の一マス下げたところから書かれているか

・一マスに一文字が書かれているか

・正しいマス目の使い方かどうか

② 自分の意見を記述する問題

問題 1 B1 情報を獲得する 具体化 関係づけ

ア 第二段落に「自分自身を追い詰める必要はありません」とあり、友達ができないことを必要以上に気にしなくてよいと述べています。友達ができない状況を乗り越えることをすずめてはいないので、誤りです。

イ 第三段落で「『友達』という言葉をとらえるかは自由」と書かれており、明確に基準を決めておく必要があるという内容の主張はしていないため、誤りです。

ウ 第四段落で、10代での友達の数がその後の人生を決めたりはしないと述べています。筆者自身は大人になってからステキな友達ができたようですが、いずれにせよ友達の数が人生の価値を高めるという主張はしていません。したがって、誤りです。

エ 8 ページ上段後半で、「『自分の、好きの芽を育てる』というセルフケアの方法について触れており、好きになったものについて『誰にも言わなくていい』と述べています。したがって、正しいです。

オ 本文の最終段落で「『人に流されなくてカッコいい』『自分もそうになりたい』と見て見ている人だっている」と述べています。これと同じ内容ですから、正しいです。

問題 2 B2 具体化 関係づけ 置き換え

指示語の指示内容を答える問題です。直前に書かれた内容だけに注目するのではなく、指示内容と置き換えて意味が通じる内容を探し、当てはめてみて確認しましょう。筆者は、ひとつ前の段落の先頭で「友達関係でしんどくなってしまうときは、

いっそ自分の趣味や好きなものを極めることに時間を使ってみてはどうでしょう」と提案しています。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。
内容等について（6点）

誤り1か所につき、3点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・「友達関係でしんどくなった」人に対して、「自分の趣味や好きなものに時間を使う」ことをすすめている内容が書かれているか

・内容が過不足なく書かれているか
・文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか

形式等について（2点）

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・常体、敬体の混在がないか
- ・不適切な話し言葉の使用がないか
- ・消し残りなどで字が見えづらくないか
- ・指定されたマス目の使い方でかかっているか
- ・一マスに一文字が書かれているか

問題 3

C2

理由 置き換え

推論

本文中で触れられている「友達ができるか不安な気持ち」について、あなたの意見を述べる問題です。

第一段落では、本文中で筆者が「友達ができるか不安な気持ち」をどのようにとらえているかを確認し、まとめます。

第二段落では、「友達ができるか不安な気持ち」について、あなたの考えをまとめます。

第三段落では、第二段落で述べた内容にどのように対応するのかを書きます。

文章を読んで自分の意見を記述する問題では、「文章で述べられている筆者の意見」「筆者の意見に対して自分はどのような意見を持つか」「自分がそのような主張をする理由」をそれぞれ盛りこんで書くよう心がけましょう。もともと文章がないうちでも、自分の意見とその理由を必ず組み合わせて書いておくことで、より説得力のある表現にすることができます。

※三百字未満の場合、採点対象としません。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について (36点)

誤り1か所につき、6点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

第一段落について

- ・ 筆者の述べる「友達ができるか不安な気持ち」についてまとめられているか
- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか
- ・ 同内容の不必要な反復がないか

第二段落について

「友達ができるか不安な気持ち」について、自分の意見を明確に書けているか

- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか
- ・ 同内容の不必要な反復がないか

第三段落について

第二段落に書いたことについてどう対応するのか書かれているか

- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係、一文が途中で終わっていないか
- ・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について (14点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点の減点となります。2つ目以降の誤りは1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 誤字や脱字がないか
- ・ 文法的な誤りがないか
- ・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見えづらくないか
- ・ 原稿用紙の使い方に誤りがないか
- ・ 指定された段落数で書かれているか